

データ作成前、またはご入稿前に必ずお読みください。

データ形式について

弊社にてお受けできるデータの形式は以下のものになります(上段がファイル形式、下段がソフト名)。

PDF

Adobe .pdf

PDF



上記以外のデータをお持ちの場合、恐れ入りますが上記のいずれかの形式にて保存していただくか、再度 作成してください。

※…Mac版 office、類似フリーソフト(open office 等)は全バージョン非対応になります。

以降の説明では Adobe illustorator/indesign/photoshop を [DTP 系ソフト]、 microsoft word/excel/powerpoint/一太郎を「office 系ソフト」と称します。

●ファイルについて

複数のファイルに分かれている場合は「おもて面」「うら面」「01_p ○○ -p ○○」「02_p ○○ -p ○○」 のように順番・位置がわかりやすい名前にしてください。また、不要なデータが混在すると間違って使用 してしまう等トラブルになりかねませんので、<mark>必要なファイルのみ</mark>をご入稿いただきますようお願します。 DTP 系ソフトの場合、リンク画像も必ず添付してください。Mac をご使用の場合は必ず拡張子(.ai など) を付けてください。また弊社にて確認する際に必要となりますので、レイアウト見本(データをプリントし たもの、または PDF)を必ず添付してください。メールにてご入稿の場合は PDF を添付していただくか、 プリントしたものを弊社まで FAX で送付してください。

●データサイズについて

原則として、実際に印刷するサイズでデータを作成してください。「A4 データを B4 で印刷」等の場合、 弊社にて拡大 / 縮小作業をいたしますが、上下左右に余白ができてしまったり、縁に配置したイラストや写 真が少し切れてしまうことがあります。

●書体・体裁(改行や文字位置)について

弊社にない書体が使われているデータは、弊社で開くと置き換わってしまい、体裁が大きく崩れます。特 に office 系データは開く際に勝手に置き換わってしまうため弊社では気付けないことがあります。また、 office 系ソフトは PC 環境により、改行位置や表中の文字位置が変わってしまうことがあります。変わって は困る、という場合は校正でご確認いただきご指示ください。

書体の取扱い方は、DTP 系ソフト・office 系ソフト・PDF で注意点が異なります。 詳細は各ソフト毎の [デー タ作成の注意点|をご参照ください。



●画像・色について

画像を配置する場合は、大きさ・解像度にご注意ください。インターネット等からコピーした画像は 70-80dpi 程度の低解像のものが多く、PC の画面ではきれいに見えていても、印刷での仕上がりが悪くなっ てしまいます。可能な限りホームページ等からのコピー使用は避けてください。使用する大きさで解像度 300-350dpi を推奨します。また、インターネット上の画像やデジカメで撮影した画像は RGB(レッド・グ リーン・ブルー)の3色で出来ていますが、印刷は CMYK(シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック)の 4色で刷るため、どうしても色調が変化してしまいます。office 系ソフトは RGB 設定しかできません。



[※]イメージです。実際の印刷仕上がりとは異なります。

●透明効果他ソフト固有の機能について

office 系ソフトのワードアートや影付け・透明効果などは極力使用しないでください。印刷用データに変 換する際に正しく再現されないことや不具合が生じることがあります。ご使用になられている場合は必ず校 正でご確認ください。

illustorator で透明機能をご使用の場合は解像度を「高解像度(300dpi)」または「その他」で 350dpi に設定してください。ソフトの初期設定では「低解像(72dpi)」になっている場合があり、そのまま印刷 すると印刷での仕上がりが劣ってしまいます。

PDF の場合、設定によっては透明効果の箇所に白い線が入ってしまうことがあります。これは PDF が透 明効果を表現しきれない場合に起こります。印刷物にもそのまま白い線が入ってしまうことがありますが、 弊社でも修正できませんので元のデータから作り直していただく必要があります。ご了承ください。

●その他

データに不備が見つかった場合や内容に修正が生じた場合、弊社にてお直しすることも可能ですが、書体 や色が元のデータと少し変わってしまうことがあります。弊社での修正作業が不可能と判断した場合は大変 申し訳ありませんが、お客様にて再度作成していただいた上で、再入稿をお願いしますのでご了承ください。

使用ソフト毎の詳しいデータ作成マニュアルも併せてご確認ください。 ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



Ai



※ CC の画面で説明しております。ご使用のバージョンによりメニュー位置や名称が異なる場合があります。

●ドキュメント(アートボード)サイズについて

仕上がりサイズに設定し、仕上がりサイズに対してトリムマーク(トンボ)を設定してください。



※ CS6 等断ち落とし設定が可能なバージョンでは断ち落としを「3mm」 に設定してください。 仕上がりサイズと同じ大きさの透明な四角を作成(A4 なら 210x297mm)→「オブジェクト」→「トリムマークを作成」

●カラーモードについて

必ず CMYK モードにしてください。(ツールバー「ウィンドウ」→「ドキュメント情報」で RGB が残っていないかご確認ください) RGB モードのままご入稿された場合弊社にて CMYK モードに変更しますが、透明効果等の見え方が変わってしまうことがあります。 黒色 1 色印刷の場合は配置画像も含めてすべて黒色(K)のみで作成してください。

※ RGB → CMYK、RGB または CMYK →グレー変換後の結果(色の濃淡や透明効果の見え方の変化など)についての責任は負いかね ますのでご了承ください。

●フォントのアウトライン化について

フォントはロック・非表示はすべて解除してからテキストを選択して、全てアウトライン化してください。



●オーバープリントについて

弊社では<u>印刷時に K100% のオブジェクトは全てオーバープリントがかかるよう設定</u>されています。お客様の方ではオーバープリン トは設定しないでください(デフォルトでは設定されていません)。また、見出し文字やキャラクターの髪の毛部分など、<u>オーバープ</u> リントにしてほしくないオブジェクトはリッチブラック (CMY 各 30+K100% など)にするか、塗りを k99% にして線幅 0.2pt 位の細 い線を K100% で付けてください(線だけにオーバープリントがかかり、色ズレ防止になります。





K100% でオーバープリン C30 トがかかった状態例。色の に訳 差が出てしまいます。 差は

C30%Y30%M30%K100% に設定した場合の例。色の 差はほとんど目立ちません。

※リッチブラックの注意点

CMYK の%合計が300以上にならないように設 定してください(色移り等のトラブルに繋がり ます)。

また、本文文字や線など細かい部分にはリッチ ブラックは使用しないでください。



●特色(スポットカラー)について 特色は使用しないでください。下図の設定で特色を解除してください。



図のようにカラーダイブ「ノロセスカラー」 カラーモード「CMYK」にしてください。

●**パターンについて**

塗りにパターンを使用した場合、ファイルの原点(0/0の位置)の変化やバージョンの違い等で位置がずれることがあります。 必ずパターンを解除してください。未解除の場合のズレは弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。



●塗り出しについて

<u>仕上がりサイズより外側上下左右各 3mm 余分に作成してください。</u>



●その他

・「ドキュメントのラスタライズ効果設定」は「高解像度(300dpi)」以上にしてください。低解像では印刷の仕上がりが粗くなります。 弊社にて設定変更した場合、お客様の希望通りの見え方にならないことがあります(見え方は変わってしまいます)。

- ・レイヤーやオブジェクトのロック及び非表示設定は全て解除し、不要なレイヤー・オブジェクトは消去してください。
- ・表紙データの場合、背幅も含めたサイズで作成してください。
- ・配置画像は「リンク」でも「埋め込み」でも大丈夫ですが、「リンク」の場合必ず画像データも添付してください。
- ・線の太さは 0.25pt 以上にしてください。また、線のみのオブジェクトは「線」のみに色を付けてください。



- 線のみに色を設定します。





- ※ indesign で作成された場合、PDF (PDF/x-1a または PDF/x-4 形式) での入稿をお薦めいたします。
- ※ CS3 の画面で説明しております。ご使用のバージョンによりメニュー位置や名称が異なる場合があります。

●ドキュメント(アートボード)サイズについて

仕上がりサイズに設定してください。見開きが必要な場合は見開きで作成してください。※閉じ方向を正しく設定してください。

新規ドキュメント
ページ数(P):
ページサイズ(S): A4
幅(W): 🔵 210 mm 方向: 👔 🝓
高さ(出): 🤹 297 mm 翻じ方: 🔳 🔳
ドキュジンド作成方法: キャンシンドの方法: キャンセル レイアウトクリッド- マージン・投稿

●フォントのグラフィックス化について

必ず**全てのフォントをグラフィックス化**(アウトライン化)してください。全てを選択した状態で、ツールバー「書式」→「グラフィックス化」でグラフィックス化されます。ロックされたレイヤー上のテキストやマスターも含めて必ず全てをグラフィックス化してください。表組み中のフォントはグラフィックス化しても下にグラフィックス化されないフォントが残ってしまうので、それらは一つひとつ手動で選択して消去してください。

●カラーについて

<u>スウォッチは全てプロセスカラーに設定してください</u>。

☑ カラー値を持つ名前 (⊻)			キャンセル
カラータイプ(1): プロセス	~		□72/1-(P)
 カラーモード(M): プロセス 特色 			
シアン(©) a	0	%	
マセンタ(③)	100	×	
1ID-W 🕳	0	*	
黒(日) 4	0	8	

●プリフライト確認について

indesign にはデータに不備がないかチェックするためのプリフライト機能が付いています。CS5 以降では作業中もずっとリアルタ イムでチェックできます。フォント・画像(RGB が混在していないか)等について必ず確認してください。 CS3、4 ではメニュー「ファイル」→「プリフライト」で確認できます。

●リンク画像について

illustorator で作成したデータを配置してある場合、illusotrator データも必ずフォントはアウトライン化してください。画像データは使用実寸で 300-350dpi(モノクロの場合 720-1200dpi)を推奨します。リンクデータも必ず添付してください。

● PDF 書き出し設定について

indesign データを PDF 変換してご入稿いただく場合、

メニュー「ファイル」→「PDF 書き出しプリセット」から、「PDF/x-1a」(透明効果を使用していない場合)か「PDF/x-4」(透明効 果を使用している場合)を選択し、必ずトンボを付けてください。その際、「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入 れるか手動で「3mm」に設定してください。

Adobe PDF を書き出し				
PDF 書き出しプリセット(S):	[PDF/X-1a2001 (日本)](変更)			~
標準①:	PDF/X-1a/2001	互換性(©):	Acrobat 4 (PDF 1.3)	~
-#	トンボと載ち落とし			
圧縮 Logical Activity	トンボとページ情報			
色分解	■すべてのトンボとページ情報を書き出す(N)	種類(E):	丸付きセンタートンボ	~
詳細	✓内トンボ(2)	太さ(W):	0.10 mm	~
板 裏	✓センタートンボ(B)	オフセット(E) :	🗢 0 mm	
	□カラーバー(<u>A</u>)			
	載ち落としと印刷可能領域			
	▼ドキュメントの載ち落とし設定を使用(U)			
	載ち落とし:		<u></u> .	
	天(P): 💣 3 mm 📓	左	E(L): 🔿 3 mm	
	地(B): 👌 3 mm	7	50: 🗢 3 mm	
	□印刷可能領域を含む(G)			
プリセットを保存(1)			き出し② キャ	シセル



※ CS6 の画面で説明しております。ご使用のバージョンによりメニュー位置や名称が異なる場合があります。

●ドキュメント(アートボード)サイズ・カラーについて

仕上がりサイズに設定してください。塗り出しが必要な場合は仕上がりサイズに上下左右 3mm 足したサイズで設定してください。 解像度は 350dpi、カラーモードは CMYK(黒色 1 色印刷の場合はグレー)の 8bit に設定してください。

27 T/Ma(a) .	-BHOKBOE I	
プリセット(E): カス	× ×	キャンセル
サイズ(L):		ブリセットを保存(S).
幅(<u>W</u>):	210 mm	ブリセットを削退除(D).
高さ(日) :	297 mm	
解像.度(<u>R</u>):	350 pixel/inch	
カラーモード(M):	CMYK カラー 🔽 8 bit	
カンバスカラー(C):	é	771ルサイズ:
 IV40 		45.2M
カラーブロファイル(Q) :	作業用 CMYK: Japan Color 2001 Coated	•
ピクセル総横比(X):	正方形ピクセル	

Ps

●レイヤーについて

必ず全てのレイヤーを統合してください。何らかの理由でレイヤー統合が出来ない場合も、文字レイヤーは必ずラスタライズしてください。ラスタライズすると文字情報はなくなり画像としての扱いになります。

「レイヤー」→「ラスタライズ」→「テキスト」を選ぶか、レイヤー上で右クリックして「テキストをラスタライズ」を選択してください。



●保存形式について

EPS 形式または PSD 形式にしてください。EPS 形式の場合は、①ICC プロファイルのチェックを外す②小文字の拡張子を使用にチェックを入れる③ EPS オプションのプレビューを「TIFF(8 bit/pixel)」エンコーディング 0「JPEG 最高画質」、その他のチェックはなし に設定してください。PSD 形式の場合も原則レイヤーは統合してください。

ファイル名(N):	名称未設定 1.eps	R存(S)	ี ป้อ	
ファイル形式(<u>F</u>):	Photoshop EPS (*.EPS)	キャンセル 3 (フレビュー(R): TIFF (8 bit/pixel)	ОК
-保存オブション 保存:	 【複製を保存(Y) 注訳(N) アルファチャンネル(出) スポットカラー(P) レイヤー(L) 		エング(E): 」JPEG - 最高画質(低圧缩率) ✓ 「 トーンスカリーンを含める(H) にフー「関数を含める(T) スカリプトカラーマネジメント(C) リーニームをやめよ(n)	キャンセル
カラー: ✓ サムネール(工)	校正設定を使用(①):作案用 CMYK □ IQC プロファイル(②): sRGB IEC61966-2.1 ☑ 文字の拡張子を使用(①)		間方式(<u>C</u>) 	
	$\smile_{\mathbf{Z}}$			

※レイヤーにアルファチャンネルがあると EPS 形式に保存できません。消去してください。

●レイアウトについて

切れてはいけない文章や写真などは仕上がりサイズよりも上下左右 10mm 程度内側に収めてください(例: A4 サイズなら 190x277mm の範囲内に収める)。

●その他

・photoshop データ(EPS・PSD とも)入稿の場合、弊社では文章変更などの内容修正はできません。修正が生じた場合はお客様側 で修正していただき、再度ご入稿ください。

・仕上がりサイズで作成されていない場合、弊社で拡大・縮小も可能ですが、上下左右に余白ができる、縁にある画像や文字が一部欠けることがあります。塗り出しについても弊社では作成致しかねますので、必ず塗り出し部分も作成してください。





●はじめに

office 系ソフトはもともと印刷用データを作成するためのソフトではありません。そのため色調・体裁の変化など不具合が生じる場 合があります。少しでも不具合を回避するため、以下の注意点をご確認いただき、データを作成してください。

※ office 系とはここでは、microsoft word、excel、powerpoint、Just system 一太郎のことを指します。

※ご使用のバージョンによりメニュー位置や機能の名称が異なる場合があります。

※ご入稿時に必ずご使用ソフトのバージョンをお知らせください(office 系ソフトは異なるバージョンで開くと体裁崩れや透明機能の <u>不具合などが生じることがあります)</u>。

27.51 🔅 cm ライド開始番号(N)

・powerpoint のページ設定

●ドキュメントサイズについて 原則、印刷仕上がりサイズと同じサイズで作成してください。

・word・excel のページ設定

「ページレイアウト」→「サイズ」



「デザイン」→「ページ設定」 🔁 🖉 🖓 · U 🔹 挿入 デザイン アニメーション スライド ショー 校開 表示 亜あ 亜ぁ 亜ぁ 亜あ ページ スライドの 設定 向き・ スライド ズ指定(S A4 210 × 297 m キャンセル 幅创 A 000 ¢ cm 高さ(E):

A ○縦(0) ○横(A)

powerpoint はスライド作成 ソフトのため、余白が出来る ように設定されています。縁 なし印刷をご希望の場合は <u>「ページ設定」の「幅」と「高さ」</u> を手動で仕上がりサイズと同 じ数値に設定してください。

一太郎のページ設定

「ファイル」→「文章スタイル」→「スタイル」



サイズが正確でない場合、余分な余白が出たり、縁周辺の文字や図柄が切れてしまうことがあります。 縁なし印刷をご希望の場合は、<mark>弊社にて 102-103% 程度拡大</mark>して塗り出し(仕上がりサイズより少し余分に色を付ける)します。 そのため、切れては困る文字や図柄は仕上がりサイズよりも10mm 程内側に収めてください。

※お客様の方で、仕上がりサイズより上下左右 3mm ずつ大きなサイズでデータを作成していただいても結構です。 (A4 サイズの場合、210x297mm → 216x303mm でデータを作成)

※ A4 三つ折り、B5 観音折り等の場合は A4、B5 サイズで 1 ページ毎のデータを作成してください。 ただし、見開き (2 ページにまたがっ て画像や図柄が入る場合)は2ページ分を横につなげたサイズで作成してください(A4の場合A3横サイズ、B5の場合B4横サイズ)

A4 サイズで作成したデータを B4 に拡大して印刷物を作成する場合等は、弊社にて拡大 / 縮小作業いたしますが、その場合も縦横の 比率は変えずに拡大 / 縮小しますので、余分な余白が出たり、縁周辺の文字や図柄が切れてしまう、または、図柄等のトリミングが変 わってしまうことがあります。拡大 / 縮小印刷をご希望の場合も、縁なし印刷と同様に切れては困る文字や図柄はデータサイズよりも 10mm 程度内側に収めてください。

●フォント(書体)と体裁(改行位置・表中の文字の位置など)について

弊社にないフォントをご使用の場合、別のフォントに自働的に置き換わってしまいます。極力次のフォントのみで作成してください。

MS 明朝/MS ゴシック/メイリオ

HG ゴシック M / HG 正楷書体 -PRO / HG 丸ゴシック M-PRO / HG 行書体/ HG 創英角ポップ体/ HG 創英角ゴシック体/ DF 特太ゴシック体/ DF POP 体/ Arial / Century

フォントの置き換えが発生した場合、弊社所有フォントからできるだけ近いフォントで置き換えますが、見た目や改行位置などが変わっ てしまいます。



※「MS P ゴシック」など「P」とついているフォントをご使用の場合、印刷データに変換する際に、文字と文字が重なってしまったり、 大きく離れてしまうことがあります。「P」の付いたフォントのご使用は極力避けてください。

[P] (プロポーショナル)フォントとは…文字間を文字の形に応じて自動的に広げたり詰めたりするフォントです。ただし、画面での見え方とプリンタや印刷データ変換後で結果が異なってしまうことがあります。

※フォントにボールドの設定を行った場合、印刷データに変換の際、文字につぶれが発生するなど不具合が発生しやすくなるため、ボールド設定をするのではなく、イメージに近い太めの書体をお選びいただくことをおすすめします。

※印刷システムの仕様で、文字や改行が PC の画面で見えている状態とは異なってしまうことがあります。段落の最終行が切れてしまったり、少し文字が切れてしまうこともあります。特に excel の表で「折り返して全体を表示」設定がされている場合文字が隠れてしまうことがあります。



●カラーについて

office 系ソフトは RGB(レッド・グリーン・ブルー)の3色の設定になりますが、印刷(オフセット印刷)は CMYK(シアン・マゼンタ・ イエロー・ブラック)の4色を使用します。そのため色調は変化してしまいます。特に鮮やかな色は変化します。



※イメージです。実際の印刷仕上がりとは異なります。

※黒色1色印刷をご希望の場合は、弊社にて黒色1色に変換します。その際に薄い色はほとんど見えなくなってしまいます。1色印刷 をご希望の場合はなるべく濃い色をご使用ください。

※<<p>※
<u>各の濃淡に「半透明」「透過性」をご使用にならないでください</u>(印刷データに変換する際に不具合が生じます)。

※ office 系データ入稿では2色印刷には原則対応できません。(どうしても、という場合は担当営業までお問い合せください)

●線の太さについて

<u>細い線は画面や家庭用プリンタでは見えていても印刷では消えてしまうことがあります</u>(印刷の方が高精細で正確に再現してしまうため)。特に表などを縮小して配置してあると線幅も細くなってしまいますので、可能な限り太め(実寸で 0.5pt 以上推奨)に設定してください。

※ excel のの罫線で一番細い線は使っているプリンターで印刷可能な最小の細さになってしまいます。極力使用しないでください。 また、点線は印刷データに変換刷る際にパターンや太さが変わってしまい、画像化されてしまうことがあります。その場合、弊社で はお直しできませんので校正時にご確認ください。

● excel の表の不具合について

excel の表を word 等に貼り込み(リンク)してある場合、文字がずれてしまうことがあります。また、表に変更・修正が生じた場合、 弊社ではお直しできませんので、お客様のほうで元のデータをお直し後、再度ご入稿ください。





●ワードアート(インライングラフィック)・透過 / 半透明効果について

ワードアートとは Microsoft Office の文字の装飾等に使用する機能です。装飾が非常に簡単にできるため、タイトルや見出しによ く使われますが、印刷データに変換刷る際に不具合が起こることが多く、お客様のご希望通りの仕上がりにならないことがあります。 極力ご使用にならないでください。ご使用の場合の不具合に付いては補償致しかねますのでご了承ください。



これらの効果を使用されている場合、ご希望通りの 仕上がりにならない場合があります。必ず校正紙等 でご確認ください。 ※不具合が見られた場合、弊社でなるべく似せて作 り直すことも可能ですが、完全に同じものにはなら ないことが多いです。

また、塗り色に「半透明(透過)」やパターンが正しく再現されないことがあります。この効果も極力使用を避けてください。



※ご使用の場合は校正紙等で見た目をご確認ください。

●グラフ等のパターンについて

グラフ等のパターン(模様)が変わることがあります。編模様の線が太くなったりします。これらのパターンは変換時に画像になってしまうので修正もできません。原則変換されたままでの印刷となります。

●画像の解像度について

Office 系ソフトでは、画像解像度は 72dpi で表現されますが、印刷品質の画像は 300 ~ 350dpi 必要になるため、印刷品質を再現 する為には実際のサイズよりも大きめの画像を用意して、それを縮小して貼付ける事によってある程度の見た目を保つことができます。 HP 等からコピーした画像は低解像のため、画面ではきれいに見えていても、印刷では粗い仕上がりになります。また、HP 等からのコ ピー画像のご使用は場合によっては著作権の侵害にもなりますので、極力ご使用にならないことをお薦めします。

●出力見本について

office 系ソフトは PC 環境に大きく左右されます。<u>出力見本は必ずデータを作成時に使用した PC から作成(印刷)してください</u>。 office 系ネイティブデータ(word なら.doc)と PDF の両方をご入稿いただいた場合、<u>原則としてネイティブデータから印刷用デー</u> <u>タを作成します</u>(PDF の変換方法によっては画像の解像度が落ちるため)。PDF そのままでいい場合はその旨お知らせ下さい。

●その他

・全角・半角数字や言い回し、見出しの大きさ等の統一が必要な場合は事前にお知らせください。

・校了後に「テキスト検索可能(テキストが取り出せる)な PDF」が必要な場合は必ず事前にお伝えください(印刷用データを作成する際にテキストをアウトライン化(文字化けを防ぐため、文字データではなく図形にする)してしまうことが多く、そのようなデータからでは「テキスト検索可能」な PDF は作成できないため)。

・Mac 版の office 製品及び、Open office 等の office 類似フリーソフトで作成されたデータでのご入稿はご遠慮ください。







●はじめに

PDF は汎用性の高いファイル形式で、容量も軽く、一般的には PC 環境の影響を受けにくく、どの PC でも同じように見える、とさ れています。しかし、印刷(オフセット印刷)に適した PDF の規格に準じていないものはそのままでは印刷できないだけでなく、体 裁崩れ・画像の劣化等があるため、正しい PDF を作成していただく必要があります。

※ DTP 系、office 系とも、元データと PDF 両方ご入稿していただいた場合、<u>原則として元データを使用して印刷データを作成します</u>。 PDF データをそのまま印刷に使用する場合は必ず事前にお知らせください。

※ご入稿いただいた PDF に不具合がある場合は元データのご入稿をお願いすることがあります。

● office 系ソフトからの PDF 作成について

① <u>office2007 をご使用の場合…画面左上の「office ボタン」→「名前を付けて保存」→「Adobe PDF」を選択</u>。 office2010 以降をご使用の場合…画面左上の「ファイル」→「Adobe PDF として保存」を選択。

※ただし、この方法で作成した PDF では<u>画像の解像度が落ちます</u>。また、office2003、一太郎ではこの方法は使用できません。

- ② PDF 作成ソフトから PDF を作成する (office 2003、一太郎も対応)
 Adobe Acrobat (有料ソフト) から PDF を作成する場合 office 2007 以降…ツールバー「Acrobat」→「環境設定」→
 - 「PDF 設定」で「PDF/x-1a」を選択する
 - office2003…ツールバー「Adobe PDF」→「変換設定の変更」 「設定」タブで「PDF/x-1a」を選択する
 - 一太郎…「ファイル」→「印刷」→プリンタ名「Adobe PDF」
 選択→「設定」タブで「PDF/x-1a」を選択する



※ HP からのコピー等元々解像度が低い画像をご使用の場合、この方法でも解像度は低いままで、印刷仕上がりは粗くなります。
 ※ office 系ソフトに画像を配置する際に、画像が圧縮されている場合はこの方法でも画像がきれいにならないことがあります。

・Primo PDF(フリーソフト)から PDF を作成する場合(office 2003, 2007, 2010, 一太郎共通)

- 各ソフトのメニューから「印刷」→プリンタ名「Primo PDF」を選択→「<mark>プリプレス</mark>」を選択する
- ※ Primo PDF はフリーソフトです。広く使われており、高品質 PDF も作成できるため、フリーソフトの中ではお勧めのソフトに なりますが、ご導入の判断はお客様ご自身でお願い致します。

いずれの場合も出来上がった PDF を Adobe Reader 等でご確認ください。その際、「ファイル」→「プロパティ」→「フォント」タ ブを開き、全てのフォントが埋め込みになっているか確認してくださし、文書のプロパティ 図



※その他にも PDF 作成ソフトはたくさんありますが、弊社では動作や PDF の仕上がり等の確認がとれていないため、上記の方法以 外で作成された PDF でのご入稿はご遠慮願います。

●データの仕上がりサイズ・塗り出しについて

原則**印刷での仕上がりサイズと同じサイズで PDF を作成してください**。拡大 / 縮小が必要な場合、弊社で拡大 / 縮小作業をいたし ますが、紙面の縁に余分な余白が出来たり、縁周辺の文字や図柄が切れてししまうことがあります。

また、**縁なし印刷をご希望の場合は、頂いたデータを 103% 程度拡大して使用します**。そのため、縁周辺の文字や図柄が切れてしし まうことがあります。仕上がりが変わってしまっては困る、という場合は、仕上がりサイズより上下左右 3mm 大きなサイズで元のデー タを作成していただいたうえで PDF を作成してください。

●その他

- ・office 系ソフトの透明効果・パターン(模様)・ワードアートをご使用の場合、PDF では正しく再現されないことがあります。そのような場合は、元のデータから作り直していただく必要があります。
- ・PDF にした際、excel の表などで文字が一部切れる・改行位置が変わることもあります。必ず作成した PDF をご確認ください。
- ・PDF データでご入稿の場合、内容等に修正が発生しても弊社ではお直しできません。お直しのうえ、再度ご入稿してください。



● DTP 系ソフトからの PDF 作成について

DTP 系ソフトから PDF を作成する場合は、「Adobe PDF」「Adobe Acrobat Pro」を使用して作成してください。(CS3 の場合で 説明しております。バージョンによって多少項目等異なる場合がございます)

・illustorator の場合…「別名保存」から「Adobe PDF」選択し、「Adobe PDF プリセット」から「PDF/x-1a」または「PDF/x-4」



CS3 以降のバージョンをご使用で、透明効果(ドロッ プシャドウ等)をお使いの場合は、PDF/x-4(透明 効果を保持した PDF 形式)をお薦めします。 PDF/x-1a は透明効果を再現できないため、透明部 分に白い線が出てしまうことがあります。

「圧縮」→画像の解像度をカラー・グレーは「350ppi」、モノクロを「1200ppi」に設定 「トンボと裁ち落とし」→「トンボ」にチェックを入れる(他の項目は任意) ※ドキュメントが仕上がりサイズではない場合(A4 仕上がりだがデータは B4 でできている等)は illustorator 元データに仕上がり サイズのトンボを設定して、PDF にはトンボを付けないでください。 「出力」「詳細設定」「セキュリティ」は初期設定のままで OK です。

・photoshop の場合…別名保存」から「Photoshop PDF」選択し、「Adobe PDF プリセット」から「PDF/x-1a」を選択→「カラー」の「校正設定を使用」「ICC プロファイル」のチェックが入っていないことを確認(入っていたら外す)



その他の項目については「illustorator」の場合と同じです。

・indesign の場合…「ファイル」→「PDF 書き出しプリセット」から「PDF/x-1a」か「PDF/x-4」を選択→「トンボと裁ち落とし」でトンボを設定(内トンボ・外トンボは必ず付けてください。他の項目は任意です)+「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れる

その他の項目については「illustorator」の場合と同じです。

●フォントの埋め込みについて

いずれのソフトから作成した場合も、**必ず全てのフォントを埋め込んでください**。Acrobat Pro または Adobe Reader の「ファイル」 →「プロパティ」→「フォント」タブですべてのフォント名に(埋め込みサブセット)と付いているかご確認ください。

●その他の DTP ソフトからの PDF 作成について

Quak、Edicolor 等 Adobe の DTP ソフト以外のソフトをご使用の場合は各メーカーの HP 等で PDF の作成方法をご確認ください。 [PDF/x-1a] または [PDF/x-4] 形式、「トンボは付ける」等、上記同様の設定をお願いします。

●その他

- ・原則、印刷仕上がりと同じサイズでデータを作成してください。
- ・トンボは必ず付けてください。
- ・透明効果を使用している場合は「PDF/x-4」形式で PDF を作成してください。「PDF/x-1a」では透明部分に白い線が出てしまう ことがあります。
- ・PDF 入稿の場合も確認用に出力紙を添付してください。
- ・PDF データでご入稿の場合、内容等に修正が発生しても弊社ではお直しできません。お直しのうえ、再度ご入稿してください。

